

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-93	小学校	社会科	社会	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	社会 507	小学社会 5		

1. 編修の基本方針

学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いを込めて、私たちはこの教科書を作りました。



この教科書は、人々が幸せに生きていくためには「どうなることがよいか」と子どもが粘り強く調べ、考え、意見を表明していくことができる過程を大切にしています。多様な人々と対話を重ね、理解を深め合いながら、考えることをあきらめない子どもが育つことを願って編集しました。その特色は以下のとおりです。



特色1

「調べたり考えたりする力」がつく教科書



- ① 「問題解決的な学習」の進め方が身につきます。
- ② 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。
- ③ 対話的な学習を促し活発な表現活動につなげます。

特色2

「主体的に楽しく学べる」教科書



- ① 資料の効果的な提示やデジタル・コンテンツが関心や意欲を高めます。
- ② 「見通し」をもって追究を進められるようになっています。

特色3

「社会とつながる」子どもを育てる教科書



- ① 社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。
- ② 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や「構想」などの場面を充実させました。

特色2 「主体的に楽しく学べる」教科書

1 資料の効果的な提示やデジタル・コンテンツが関心や意欲を高めます。

p. 41・42

自分で調べて考える

選択・読解

「自分で調べて考える」ページ

9か所に掲載

p. 39

野菜づくりの様子

野菜の出荷の様子

全44コンテンツ (外部リンクを含む)

●動画
●ワークシート
●補助資料
●クイズ式教材

ここからアクセス ↑

子ども一人一人が自分で資料を選び、「ポイント」を手がかりに読み取って考察し、それをみんなで共有するページです。個に応じた主体的な学びを促します。

紙面に印刷された二次元コードから子ども自身が活用できるデジタル・コンテンツに簡単にアクセスできます。

2 「見通し」をもって追究を進められるようになっています。

p. 70

学習問題について予想し、学習計画を立てよう

学習の進め方を振り返ろう

- みんなで話し合っ て学習問題をつくる ことができたかな。
- 予想をもとにして学習計画を立てることができたかな。
- 予想と照らし合わせながら調べていくことができたかな。
- 最初につくった学習問題を解決することができたかな。

巻頭のモデル図で、「学習の進め方」を振り返る視点を例示し、学び方の改善につなげられるようになっています。

p. 7

学習が今の段階にあるのを毎時、インデックスで確かめられるようになりました。

つかむ
調べる
まとめる

この時間の問い

米の生産量にいたる新潟県米

米づくりには自然条件が

つかむ
調べる
まとめる

この時間の問い

農家の人がどのような米をつくる

つかむ
調べる
まとめる

「つかむ」場面では追究の見通し(学習計画)の立て方をていねいに例示しています。

特色3 「社会とつながる」子どもを育てる教科書

1 社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。

自動車運ぶ船長の増富さんの話

これから、新車を中心に5000台の自動車を積んだ船で、アメリカ合衆国に向けて出発します。アメリカのロサンゼルスまで約15日かかります。自動車専用の船体は高さがあり、風の強い海を渡るには、慎重な運転が求められます。

工場の案内係の森元さんの話

同じ作業をくり返して慣れずきずきと、ミスやけがにつながることもあるので、受けもつ作業を入れかえたり、2時間おきに休憩を入れています。また、工場の中には、冷蔵庫や空気を冷やすことが大切です。

人物のインタビューを多数掲載(第5学年で64か所)しました。その思いにも触れながら臨場感豊かに紹介しています。

2 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や「構想」などの場面を充実させました。

自分たちができることを考えよう。

さくらんぼたちは、北九州市の公害の歴史や、環境保全の取り組みを参考にして、これらも環境を守り続けるために自分たちができると考え、おたがいの意見を伝え合いました。

社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこれらについて「構想」する学習場面を、「つなげる」として充実させました。

p. 245

SDGsとつなげて考えよう

自分たちができることを考えよう。

p. 250・251

「SDGsとつなげて考えよう」は、地域や社会、暮らしのあり方について考えることを促します。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
前の学年をふり返ろう 社会科で使う見方・考え方 他の教科などとの関わり 社会科の学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年の学習を想起するページを設け、第5学年の学習へのスムーズな接続を図り、関心や意欲を高めることができました。〈第1号〉 ・社会科と他の教科等との学習連携を示した「他の教科などとの関わり」を掲載し、横断的な学びに向けて意欲を高められるようにしました。〈第1号〉 	p.4 p.5
1 日本の国土とわたしたちのくらし 1 世界の中の日本の国土 2 国土の気候と地形 3 自然条件と人々のくらし	<ul style="list-style-type: none"> ・国土の自然環境と暮らしの関わりについて気づけるようにして、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度が養われるようにしました。〈第4号〉 ・世界の国々の国旗を掲載するとともに、国旗は尊重されるべきものであることを記述して、他国を尊重する態度が養われるようにしました。〈第5号〉 	p.28-57 p.10・11、 p.14
2 未来を支える食料生産 1 米づくりのさかんな地域 2 水産業のさかんな地域 3 これからの食料生産	<ul style="list-style-type: none"> ・実在する勤労者に取材した「〇〇さんの話」を多数掲載し、その思いにも触れながら学習することができるようにして、職業と生活との関わりを考え、勤労を重んじる態度が養われるようにしました。〈第2号〉〈第3号〉 ・食料生産に携わる人々による生産や品質の向上のための工夫や努力について理解を深められる多様な資料を掲載して、勤労を重んじ、社会の発展に寄与する態度が養われるようにしました。〈第2号〉〈第3号〉 	p.34ほか多数 p.72-85、 p.90-101、 p.106-111
3 未来をつくり出す工業生産 1 自動車の生産にはげむ人々 2 日本の工業生産と貿易・運輸 3 日本の工業生産の今と未来	<ul style="list-style-type: none"> ・女性や障がいのある人など誰もが働きやすい労働環境づくりに努める工場の事例を取り上げて、様々な立場の人が共に生きる社会の実現に向けて意識を高められるようにしました。〈第3号〉 ・海外生産を行う工場で、現地の習慣を理解しようと努めている日本企業の駐在員の話から、国際理解を進められるようにしました。〈第2号〉〈第5号〉 	p.139 p.164
4 未来とつながる情報 1 情報を伝える人々とわたしたち 2 くらしと産業を変える情報 通信技術	<ul style="list-style-type: none"> ・発展する情報通信技術を生産や暮らしの向上に役立てようとしている人々の姿から、勤労を重んじ、社会の発展に寄与する態度が養われるようにしました。〈第2号〉〈第3号〉 	p.192-197、 p.202-206
5 国土の自然とともに生きる 1 自然災害とともに生きる 2 森林とともに生きる 3 環境とともに守る	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・行政・市民が協力・連携して公害の防止に努めてきたことを学習して、社会的な責任を果たすことや公共の精神を重んじることが大切であることに気づくことができました。〈第3号〉〈第4号〉 ・リサイクル工場を集積した北九州エコタウンの取り組みについて学び、自分たちにもできることを考えることを通して、資源の節約や再利用に寄与する態度が養われるようにしました。〈第3号〉〈第4号〉 	p.238-239 p.240-243、 p.245
日本にある世界遺産 SDGsとつながって考えよう 5年生の学習をふり返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にある世界文化遺産を一覧できるページを設けることで、日本の伝統や文化に対して愛着を深められるようにしました。〈第5号〉 ・第5学年の学習をSDGsとつながってふり返ることができるようにして、環境の保全に向けて意識を高めたり、社会に参画する態度が養われたりするようにしました。〈第4号〉〈第5号〉 	p.246-247 p.250-251

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

POINT! 全ての子どもが“学び”やすくするための配慮

特別支援・人権教育への配慮

視覚や色覚、発達のあり方が多様であることを前提に、ユニバーサルデザインに配慮しています。

カラーユニバーサルデザインに配慮



色覚の個人差を問わず、より多くの人にしやすい配色にしています。また図版などは色だけでなく形や模様でも判別できるようにしています。

ユニバーサルデザインフォントを使用



本文には、ロービジョン(弱視)や読みに困難さがある学習障がいの子にも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」を使用しました。

感覚的に見やすく読みやすいデザインに配慮



資料のネームにカタカナの記号を付けて共通理解を図りやすくしました。折り返しの多い文章は、読みやすさを考慮して改行しています。

社会の多様性に配慮



学習活動の場面では、性や国籍の違い、障がいの有無に関わらず多様な子どもが互いに協力し合いながら取り組む様子を描写しています。

造本上の工夫

判型



資料を大きく掲載できる幅広の判型です。ランドセルや机への収納にも配慮しました。

書体



フォントやポイントの違いにより、本文と資料、子どものノート例などを見分けやすくしています。

造本・用紙



年間の使用に耐えうる堅固な製本です。また、丈夫で軽量かつ写真や挿絵の表現力の高い再生紙を使用し、鮮明に印刷されています。

POINT! 今日的な課題への配慮

カリキュラム・マネジメントへの配慮



- 学年1冊の分冊は、年間を通したカリキュラム・マネジメントに活用しやすく、また、各単元の内容を関連づけながら学習を進めるうえで効果的です。
- 社会科と他の教科等との学習連携を示したイメージ図「他の教科などとの関わり」を掲載し、横断的な学びが意識されるようにしました。(p.5)

「領土の範囲」の取り扱い



「世界の中の日本の国土」で、日本の領土、領海、排他的経済水域を示す地図を掲載しています。「領土をめぐる問題」に関しては、北方領土、竹島、尖閣諸島の写真と地図を掲載するとともに、それらの島々をめぐる現状について、囲み記事を設けて1ページを使って詳しく解説しています。(p.14-18)

国際理解・グローバル教育への対応



「世界の中の日本の国土」で、各国の文化財や自然景観などの写真を掲載しています。(p.10-13)「日本の工業生産の今と未来」では、海外生産を行う工場で、現地の習慣を理解しようと努めている日本企業の駐在員の話に掲載しました。(p.164)子どもの国際理解が進むことをねらいとしています。

教育のICT化への対応



- 紙面に印刷された二次元コードから、子ども自身が活用できるコンテンツに簡単にアクセスできます。動画、ワークシート、補助資料、クイズ式教材など豊富に揃えました。家庭での学習にも活用できます。
- タブレット型端末などICT機器を活用している学習の様子や学習の例を積極的に掲載しています。(p.2・3)(p.8)(p.27)(p.103)(p.118)(p.170)(p.201)(p.235)(p.244)ほか
- 学習者用デジタル教科書と教材、教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を発行します。指導者用デジタル教科書には、動画、アニメーション、フラッシュ型教材などの各種のコンテンツや機能を搭載します。

道徳教育との関連



人間の尊重や公共の精神、生命や自然に対する畏敬の念の涵養など、教科の特性に応じた道徳教育を行うことができます。(p.243)

国旗の取り扱い



「世界の国々」や「日本の国土とその周り」の地図上に各国の国旗を示し、側注欄では国旗のもつ意義や、国旗は尊重されるべきものであることを記述しています。(p.10・11)(p.14・15)

防災・安全教育への対応



- 「自然災害とともに生きる」では、これまで日本で発生した自然災害を地図や写真で示した折込を設けて、年表を掲載しています。(p.210-213)
- 災害対策について、子ども一人一人が自分で資料を選び、「ポイント」を手がかりに読み取って考察するページを設けて、主体的な学びを促します。(p.216-220)

個に応じた学び



「もっと知りたい」ページは、意欲や関心に応じて、さらに広く、深く学習するときに活用することができます。(p.58・59)(p.104・105)(p.120・121)(p.172・173)(p.207)(p.246・247)

環境教育への取り組み



- 「環境をともに守る」では、企業・行政・市民が協力・連携して公害の防止に努めてきたことや、将来に向けた環境保全の取り組みが市民によって担われていることを、北九州市を事例にして学習します。(p.236-244)
- 「SDGsとつなげて考えよう」は、第5学年の社会科の学習をSDGsの視点からふり返り、新たな課題や自分たちにもできることを見いだすことを促します。(p.250-251)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号 104-93	学校 小学校	教科 社会科	種目 社会	学年 第5学年
発行者の番号・略称 17 教出	教科書の記号・番号 社会 507	教科書名 小学社会 5		

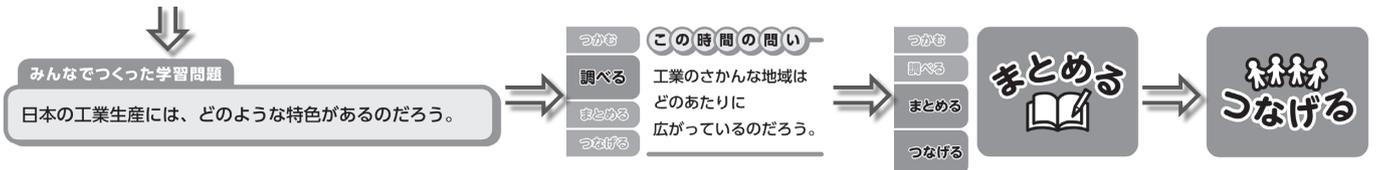
1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色1 「調べたり考えたりする力」がつく教科書

① 「問題解決的な学習」の進め方が身につきます。

● 「問題解決的な学習」の効果的な展開が可能

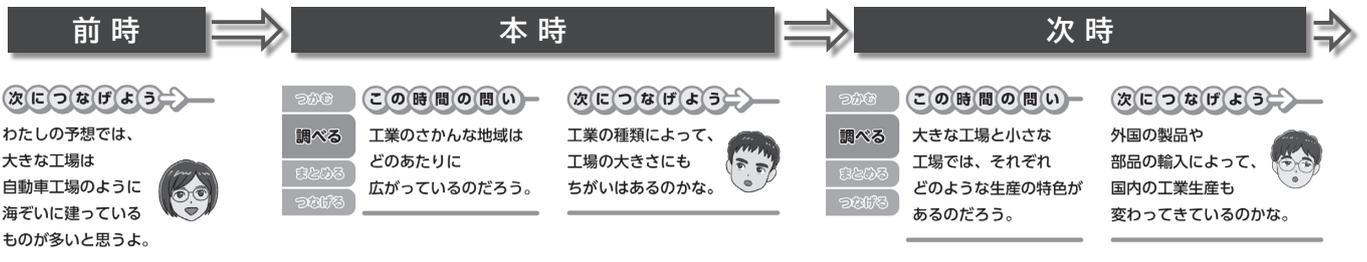
<p>つかむ 調べる まとめる つなげる</p> <p>この時間の問い</p> <p>どこで、どのような種類の工業製品が生産されているのだろう。</p>	<p>単元(学習のまとまり)の「みんなでつくった学習問題」と、単位時間ごとの中心的な問いである「この時間の問い」を明示しています。教科書の流れにそくして、問題解決的な学習を進めることができます。</p>
---	---



● 一貫した追究を進められる「次につなげよう」

各時間の「問い」や「予想」がつながり、単元を通して問題解決的な追究を進められます。

p. 157~161



② 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。

● 「見方・考え方とはどういうことか」を巻頭でわかりやすく解説

社会科で使う見方・考え方 これまでに使った見方・考え方を、5年生の学習でも生かしていこう。

- 時期や変化** これまでに、日本で大きな地震はいつ起きたのかな。
- 場所や広がり** 工業のさかんな地域は、どのあたりに広がっているのかな。
- くふうや関わり** 沖縄の人たちは、どんなくふうをして台風をしのいでいるのかな。
- 比べる** 太平洋側と日本海側を比べると、気候の様子にはどんなちがひがあるのかな。
- 関連づける** 工場が海ぞいにあること、製品を船で運んでいることには関係があるはずだよ。
- 総合する** ニュース番組をつくる人たちが心がけていたことをまとめると、どういふことがいえるのかな。

巻頭に「**社会科で使う見方・考え方**」を掲載しています。「時間」「空間」「関係」の視点や、「比較」「関連」「総合」の考え方について、具体的に、わかりやすくガイドします。

p. 5

● 学習内容にそくして「見方・考え方」を提示

東西南北のはしを線で結べば、日本の**はん囲**が示せるかな？

輸出と**比べる**輸入は遠い国からのものも多いよ。

学習内容にそくして、「見方・考え方」を働かせている例を、子どものキャラクターのふきだしの中に太字で示しています。

p. 14

p. 150

② 「見通し」をもって追究を進められるようになっていきます。

● 追究の見通しの立て方を、ていねいに例示

● 各時間の学習段階を明示

学習問題について予想して、学習計画を立てよう

予想をふせんやカードに書いて、似たものを分類してまとめよう。

p. 70・71

おいしくなるように、肥料を土に混ぜている。(あおい)

よく育つように、土に栄養をあたえている。(ゆう)

わたしの予想は、ゆづり予想とまとめられたい。この場合、土に混ぜて調べれば解決しそう。

予想したことを確かめるためには、どのようなことを調べればよいか。みんな考えて、学習計画を立てよう。

調べること

- どのようにして米をつくらっているのか。
- ・必要な作業・作業の流れ・機械や道具
- おいしい米をつくるために何をしているのか。
- ・土や水・品種
- つくった米は、どのように出荷しているのか。
- 米づくりは変わってきているのか。

調べ方

- ・教科書や資料帳で、米づくりの写真や図を見る。
- ・インターネットでけんぞくする。
- ・手紙やメールで、産地側の農家の方に質問する。
- ・図書室で、米づくりや農業に関する本を読む。
- ・近所の農家の方にインタビューする。

どのように調べればよいか、みんな考えて学習計画に加えよう。

【学習問題】 米づくりのきかんな地域では、人ががどのようなくふうや努力を米を産出しているのだろうか。

(予想)

- 一人であくさんつくるのは大変だから、何人も協力して働いている。(さく)
- おいしい米の品種を選んで育てている。(ひら)
- おいしくなるように、肥料を土に混ぜている。(あおい)
- 米づくりのくふうや努力
- 気候や地形の自然条件がととのっているのので、できるだけ自然に任せて育てるようにしている。(あおい)
- 機械を使って作業を楽にしている。(さく)
- 大きな機械を使って、一気にたくさん播えている。(ゆう)

前に調べた東京野菜づくりでは、土地の形や気候に合わせて、米づくりも、昔から変わってきたことあるのかな。

米の産地を調べたときに、たくさん種類の米があったね。米の品種にも、なにかみつかるのかな。

つかむ

この時間の問い

調べる

米の生産量が多いにいがた新潟県は、

まとめる

米づくりに向いた自然条件なのだろうか。

学習が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの段階にあるのかを、毎時、確かめながら見通しをもって学習を進めることができます。「この時間の問い」の横に記載されています。

学習問題をつかったあと、「予想」「調べること」「調べ方」について考え、追究の見通しを立てる場面をていねいに例示しています。

③ 「学び方」を学べます。

● タブレット型端末の活用のしかたを解説しています。

● 学習場面に応じた「学びのてびき」を適宜、提示しています。

社会科の学習を広げる

タブレット型コンピュータを活用しよう

p. 2・3

インターネットでけんぞくする

写真や動画を記録する

アンケートを設計する

～[まなびリンク]を利用する～

意見共有する

プレゼンテーション

23か所に掲載

(日本自動車工業会)

学びのてびき

二つの変化を関連づけて読み取る

①国内生産台数、海外生産台数のそれぞれについて、全体としてどう変化しているか読み取る。

②国内生産台数の変化と、海外生産台数の変化にはどのような関係があるか考える。

③これらの変化が起こった理由を考える。

15 2020年 (令和2)

特色3 「社会とつながる」子どもを育てる教科書

① 社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。

② 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や「構想」などの場面を充実させました。

● 「〇〇さんの話」

● 学習段階「つなげる」

● 「SDGs とつなげて考えよう」

農家の三輪さんの話

田植えのあとは、水田に張った大切な作業になります。水田に入れる節することで、稲の周りの雑草のさえ、除草剤の使用を減らすことができます。に水を張っておくと、低温から稲を守ることが稲の消毒にも、できるだけ農にやさしいです。わたしは、人の健康ににまき、害虫の発生を防いで、果実は栄養分が豊かで、稲の

64か所に掲載



社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこれからについて「構想」する場面を、学習段階「つなげる」としています。(p.119, p.171, p.201, p.235, p.245)

SDGsとつなげて考えよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、持続可能な社会を実現するための17の目標です。2015年(平成27年)に、国際社会が採択した持続可能な開発目標(SDGs)です。SDGsは、持続可能な社会の実現に向けて世界共通の目標を設定することを目的としています。SDGsは、持続可能な社会の実現に向けて、国際社会とつながり、地域や社会とつながり、自分自身とつながり、未来を共に創り出すことを目指しています。

第5学年の学習を「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点からふり返り、これからの地域や社会、暮らしのあり方について考えることができるようになりました。(p.250・251)

実際のインタビューや取材に基づいているので臨場感が豊かです。

検討の観点と内容の特色



観点	内容の特色
教育基本法・学校教育法との関係	・教育基本法第1条の教育の目的及び同法第2条に掲げられた教育の目標を達成できるよう編集されている。また、同法第5条第2項の義務教育の目的及び学校教育法第21条に掲げられた義務教育の目標並びに同法に定められた小学校の目的及び教育の目標を達成できるよう編集されている。
学習指導要領との関係	・学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに準拠し、内容をもれなく扱い、適切に単元が構成・配列されている。 ・社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育成するために、問題解決的な学習を基調として編集されている。
児童の発達段階に対する工夫・配慮	・体験的な活動や、生活体験とつなげる考え方を重視して編集されていて、興味や関心を高めながら学習に臨めるようになっている。 ・グラフや地図、写真やイラストには適宜、着目ポイントが示されていて、資料の読み取りに困難が生じないようにしている。
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮	・「問題解決的な学習の充実」、「自己調整力の育成」、「思考力・判断力・表現力の育成」、「社会的な見方・考え方を働かせた学習」に配慮して編集されている(本表の下の各項目を参照)。
資質・能力への対応	・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱を踏まえて編集されている(本表の下の各項目を参照)。「学びに向かう力、人間性等」については「自己調整力の育成に向けた配慮」の項を参照)。
問題解決的な学習の充実への配慮	・小単元ごとに「みんなでつくった学習問題」、単位時間ごとに「この時間の問い」が例示されていて、問題解決的な学習の展開が促されるようになっている。 ・本時から次時へと学習をつなげる視点を示した「次につなげよう」が見開きページごとに掲載されていて、単元を通して追究の一貫性が保たれるようになっている。
自己調整力の育成に向けた配慮	・見開きページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの場面を学んでいるのかを確かめられる「インデックス」が設けられていて、見通しをもって学習を進められるようになっている。 ・巻頭に問題解決的な学習の流れを一覧できる「社会科の学習の進め方」のページが設けられていて、学習の進め方について見通しをもつことができるようになっている。(p.6・7) ・「社会科の学習の進め方」の中に学び方を振り返る視点を示した「学習の進め方を振り返ろう」が掲載されていて、学習を自ら改善しながら進めていけるようになっている。(p.7) ・「つかむ」場面では、学習計画の立て方がていねいに例示されていて、見通しをもった学び方を身につけられるようになっている。 ・巻末の「5年生の学習を振り返ろう」の中に、学び方を振り返る視点が記載されていて、第6学年の学習に生かすことを促されるようになっている。(p.248・249)
思考力・判断力・表現力の育成に向けた配慮	・「まとめる」ページでは、文章にまとめる、発表する、話し合うなどの多様な対話的な活動の例が紹介されていて、思考力・判断力・表現力が育成されるようになっている。 ・「つなげる」ページでは、社会的な「選択・判断」をしたり、地域や社会のこれからについて「構想」したりする、取り組みやすくて多様な対話的な活動の例が紹介されている。(p.119、p.171、p.201、p.235、p.245)
知識・技能の定着に向けた配慮	・問題を解決していくうえで重要な言葉である「キーワード」が、必要に応じて語句解説も加えて側注欄に記載されていて、学習内容の習得が図られるようになっている。 ・技能について解説した「学びのてびき」のコーナーが、学習活動の流れにそくして適宜設けられていて、学習を進めていくうえで必要な技能を系統的に習得できるようになっている。
「社会的な見方・考え方」を働かせた学習への配慮	・巻頭に「社会的な見方・考え方」とはどのようなことかを、第5学年の内容にそくして捉えることができる「社会科で使う見方・考え方」のページが設けられていて、「見方・考え方」を働かせた学習が促されるようになっている。(p.5) ・学習内容にそくして「見方・考え方」を働かせている例が、子どものキャラクターのふきだしの中に太字で示されている。(p.14、p.25、p.29、p.33、p.39、p.68、p.83、p.229ほか)
他の教科等との関連	・社会科と他の教科等との学習連携を示した「他の教科などとの関わり」が巻頭に掲載され、横断的に学習を進めていくべきことが意識されるようになっている。(p.5)
ICT活用への対応	・タブレット型端末などICT機器の多様な活用例が、学習内容に応じて写真やイラストで紹介されている。(p.2・3、p.8、p.27、p.103、p.118、p.170、p.201、p.235、p.245ほか) ・教科書の紙面に印刷された二次元コードから、子ども自身が学習に活用できる動画、ワークシート、クイズ式教材などの多様なデジタル・コンテンツに簡単にアクセスできるようになっている。 ・学習者用デジタル教科書と教材、教科書に準拠した指導者用デジタル教科書が発行される。指導者用デジタル教科書には、動画などの各種のコンテンツや機能が搭載される。

人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の場面では、性や国籍の違い、障がいの有無に関わらず多様な子どもが互いに協力しながら取り組む様子が描写されている。（「もくじ」をはじめ全般） ・「自然条件と人々の暮らし」の特設ページで、アイヌの人たちの伝統的な文化を取り上げて、その中で、文化の継承に向けたアイヌの人たちの取り組みについて紹介している。（p.58・59） ・「未来をつくり出す工業生産」で、ユニバーサルデザインの自動車が開発・生産されていることや、障がいの有無や性別の違いなどに関わらず誰もが働きやすい職場を旨とする自動車工場の取り組みについて紹介している。（p.138・139）
印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を大きく掲載できる幅広の判型であり、ランドセルや机への収納にも配慮されている。 ・年間の使用に耐えうる堅固な製本であり、丈夫で軽量かつ写真や挿絵の表現力の高い再生紙が使用されている。環境への配慮から再生紙と植物油インキが使用されている。 ・表紙は抗菌加工されている。
書体・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル・フォントの使用を基本とし、本文には、ロービジョン(弱視)や読みに困難さがある学習障がいの子どもにも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」が使用されている。 ・フォントやポイントの違いにより、本文と資料、子どものノート例などを見分けやすくなっている。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年までの配当漢字は、漢字による表記が基本とされている。第5学年以上の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には、見開きごとに「ふりがな」が付され、それとともに、平易な文章表現や語句解説により読解に負担がかからないよう配慮されている。 ・1文が数行にわたる場合には、読みやすい箇所で行改行されている。
特別支援教育に関わる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無や発達の特性に関わらず、誰もが読みやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいて紙面が作成されている。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色になっている。また図版などは色だけでなく形や模様でも判別できるようになっている。

2. 対照表

単元名・小単元名	学習指導要領の内容	該当ページ	配当時数
1 日本の国土とわたしたちの暮らし	(1)我が国の国土の様子	p.8-59	20
1 世界の中の日本の国土	(1)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.10-19	6
2 国土の気候と地形	(1)-ア(イ)(ウ)、イ(イ)	p.20-27	4
3 自然条件と人々の暮らし	(1)-ア(イ)(ウ)、イ(イ)	p.28-57	10
2 未来を支える食料生産	(2)我が国の農業や水産業における食料生産	p.60-121	26
1 米づくりのさかんな地域	(2)-ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)(イ)	p.66-87	13
2 水産業のさかんな地域	(2)-ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)(イ)	p.88-103	8
3 これからの食料生産	(2)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.112-119	5
3 未来をつくり出す工業生産	(3)我が国の工業生産	p.122-173	23
1 自動車の生産にはげむ人々	(3)-ア(ア)(イ)(エ)、イ(ア)(イ)	p.124-141	10
2 日本の工業生産と貿易・運輸	(3)-ア(ウ)(エ)、イ(ウ)	p.146-155	5
3 日本の工業生産の今と未来	(3)-ア(ア)(イ)(エ)、イ(ア)(イ)	p.156-171	8
4 未来とつながる情報	(4)我が国の産業と情報との関わり	p.174-207	13
1 情報を伝える人々とわたしたち	(4)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.176-187	7
2 暮らしと産業を変える情報通信技術	(4)-ア(イ)(ウ)、イ(イ)	p.190-201	6
5 国土の自然とともに生きる	(5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連	p.208-247	18
1 自然災害とともに生きる	(5)-ア(ア)(エ)、イ(ア)	p.210-221	7
2 森林とともに生きる	(5)-ア(イ)(エ)、イ(イ)	p.222-235	6
2 環境をともに守る	(5)-ア(ウ)(エ)、イ(ウ)	p.236-245	5
		計	100